

# サルメンエビネ

Calanthe tricarinata Lindl.

ラン科

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

石川県できわめて稀産の植物である。(現況:RO)

## 形態

側花弁は広い披針形、鋭頭。萼片、側花弁とも黄緑色。唇弁は特徴的で紫褐色～朱紅褐色、3裂する。その中裂片は大きく、四角形、先端の縁にひだがあり、中央に3条のとさか状突起がある。

## 国内分布

北海道～九州に分布するがきわめて稀。

## 県内分布

南加賀区。

## 生態など

開花期は4～5月。

## 生育環境

ブナ帯の夏緑林の林床に生育。

## 危険要因

園芸採取、森林伐採。

## 特記事項

稀産なため、しばらく採集されていなかったが近年になり再発見された。



林 二良・2001年6月12日・白山麓

分布図はありません。